

住人十色

第
190
回



◎今年も立派な演技で秋祭りを彩り、観覧者に笑顔を届けた。1_ 御供相撲 2_ 獅子舞 3_ 社切り

祭りの記憶が地域をつなぐ 立川地区に灯り続ける伝統芸能の灯

立川地区伝統芸能保存団体の子どもたち

立川地区の「川中三島神社秋季例大祭」が10月21日に開かれ、内子町無形民俗文化財の伝統芸能「社切り」「御供相撲」「獅子舞」が奉納されました。桃色の着物に紫の袴、金色の髪飾りが華やかな稚児行列「社切り」。男子の健やかな成長を願う行事で、化粧まわしを着けた力士たちが土俵入りする「御供相撲」。老夫婦や猿、狐が物語を演じ、狩人と日本人が獅子を治める「獅子舞」。出演者は地域の小・中学生が中心で、境内や御旅所を巡って演技を披露します。住民らは一生懸命な子どもたちの姿に目を細め、拍手を送ります。

以前は各行事を仕切る地域の子どもが実施していましたが、年々子どもが減少したため、近年では小学校区全体で募集。保護者も地区を超えて協力し、伝統を引き継ぐ道を模索しています。協力を仰いで音頭を取る武知修一さんは「私も子どもの頃、友達と一緒に練習し、もらった小遣いで出店を巡った。楽しい記憶が、ふるさとの原風景になっている」と振り返ります。「毎年、子どもたちの成長を見られるのもいいところ。祭りは大人になっても、人と地域をつないでくれる。よき伝統を、次の世代に残してあげたい」と語りました。

編集 幸記

▽私も小学生の時、知清相撲場での練習に誘ってもらいました。稽古はしんどいときもありましたが、違う学校の子と会える貴重な場所でもありました。見守ってくれる人がいたおかげで経験できたことに感謝です(史)

▽内子町公式LINEの運用が始まって1年。今では1600人以上に友だち登録してもらっています。私も毎週、ごみ収集日通知に助けられています……。ごみの分類検索も便利！ 年末の大掃除に向けて、ぜひ登録してみてくださいね(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

